

昭和二年十月十三日

内閣書記官長

内閣書記官

内閣總理大臣

法制局長官

外務大臣

陸軍大臣

文部大臣

逓信大臣

内務大臣

海軍大臣

農林大臣

鐵道大臣

大藏大臣

司法大臣

商工大臣

別紙宮内大臣、合議ニ係ル皇室
儀制令中改正、件公布ニ付関
係國務大臣ト共ニ上奏、件ヲ

法制局

審査スルニ右ハ支障無之ト思
考ス依テ閣議決定其旨回
答相成可然ト認ム

宮内大臣へ回答案

昭和二年十月十二日

内閣總理大臣

宮内大臣宛

回答

昭和二年十月十日宮内大臣官房
秘書課第一五五號ヲ以テ皇室

儀制令中改正ノ件ニ付關係國
務大臣ト共ニ上奏ノ件合議相
成候處内閣ニ於テハ異存無之
候

参照

皇室儀制令

大正十一年十月
皇室令第七号

第四條 新年宴會ハ一月五日紀元節ノ式ハ

二月十一日天皇節ノ式ハ天皇ノ誕生日ニ
相當スル日宮中ニ於テ之ヲ行フ

別ニ天皇節祝日ヲ定メタルトキハ天皇節
ノ式ハ其ノ日之ヲ行フ

第八條 天皇喪ニ在ルトキハ新年朝賀ノ式
新年宴會紀元節ノ式天皇節ノ式講書始
式及歌會始ノ式ハ之ヲ行ハス攝政喪ニ在
ルトキ亦同シ

附式

紀元節ノ儀

參賀ノ儀

當日何時文武高官有爵者優遇者 宴會ノ儀ニ
者ヲ 參内ス 召サレタル

但シ服裝大禮服正裝服制ナキ者ハ通常
禮服關係諸員亦同シ

次ニ諸員順次參賀簿ニ署名ス

次ニ各退下

(注意) 判任官同待遇者ハ各其ノ所

屬臨ニ參賀ス

宴會ノ儀

當日早旦御殿ヲ裝飾ス

時刻文武高官有爵者優遇者及外國交際官朝
集所ニ參集ス

但シ服裝大禮服正裝服制ナキ者ハ通常
禮服關係諸員亦同シ

次ニ諸員宴殿ニ參進本位ニ就ク

次ニ天皇御正
裝出御

式部長官宮内大臣前行シ侍從長侍從侍
從武官長侍從武官御後ニ候シ皇太子親
王王供奉ス

是ヨリ先キ宮中席次第一階第八以上ノ
者外國大使公使使殿ニ候シ天皇御座ノ
時ニ於テ拜賀扈從ス

次ニ天皇御座ニ著御
此ノ時諸員一齊ニ拜賀ス

次ニ供奉並扈從ノ諸員本位ニ就ク

次ニ勅語アリ

次ニ内閣總理大臣奉對ス

次ニ外國交際官有席者奉對ス

次ニ御膳並御酒ヲ供ス

次ニ諸員ニ膳並酒ヲ賜フ

次ニ入御

供奉出御ノ時ノ如シ

次ニ各退下

天皇節ノ儀

其ノ儀紀元節ノ式ノ如シ

其ノ儀

宮内大臣官房
祕書課
一五五號

昭和二年十月十日

宮内大臣 一木喜徳



內閣總理大臣男爵田中義一殿

皇室儀制令中改正、件別紙、通皇室令
ヲ以テ制定公布、儀奏請致度、屬國
務大臣、職務ニ關連スル廉不黜候ニ付
關係國務大臣ト俱ニ上奏致度候間御

意見御回報相成度

皇室令第

號

皇室儀制令中左ノ通改正ス

第四條第一項中「二月十一日」ノ下ニ「明

治節」式ハ十一月三日ヲ加フ

第八條中「紀元節」式ノ下ニ「明治節」

式ヲ加フ

附式「紀元節」儀、次ニ左ノ如ク加フ

明治節ノ儀

其ノ儀「紀元節」式ノ如シ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

改正理由

昭和二年三月三日詔書ヲ以テ明治節ヲ制定セ
ラル年ニ此ノ佳節ニ當リ宮中ノ朝儀トシテ參
賀ノ儀ヲ行ヒ且群臣ヲ宮中ニ召サレ鋪宴ヲ賜
フハ明治天皇ノ聖德ヲ仰キ明治ノ昭代ヲ永遠
ニ記念スル所以ニシテ其ノ趣旨タル紀元節ニ
於テ參賀ノ儀及宴會ノ儀ヲ行ハルルト相同シ
是レ本令第四條及第八條中ニ明治節ノ式ヲ加
ヘ且附式中其ノ儀ヲ定メテ參賀及宴會ノ儀ト
爲シ之ヲ紀元節ノ式ノ如ク爲サムトスル理由

ナリ

參照
皇室儀制令

第四條 新年宴會ハ一月五日紀元節ノ式ハ
二月十一日天長節ノ式ハ天皇ノ誕生日ニ
相當スル日宮中ニ於テ之ヲ行フ
別ニ天長節祝日ヲ定メタルトキハ天長節
ノ式ハ其ノ日之ヲ行フ

第八條 天皇喪ニ在ルトキハ新年朝賀ノ式
新年宴會紀元節ノ式天長節ノ式講書始ノ
式及歌會始ノ式ハ之ヲ行ハス攝政喪ニ在
ルトキ亦同シ